

令和6年9月

魚津市定例記者会見



日時:令和6年8月30日(金) 午後1時30分～午後2時00分

場所:市役所 第一会議室

報道出席者:北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、読売新聞、ラジオミュー

市当局出席者:市長、財政課長、情報広報課長

【市長からの発表事項】

1. 9月市議会定例会に提案する補正予算の主な内容 (財政課)

9月定例予算補正規模は、補正額 279,721 千円、補正後予算総額で 197 億 9700 万あまりとなっています。補正規模のほとんどその多くを占めるのが、国県支出金返納金ということになります。昨年度の事業の実績が予定したものにまで行かなかったということで、国県支出金を返納していくというものが1億1000万円ほどあります。

(内容について説明)

①避難場所周知看板更新

能登半島地震の際は、市民の皆様はより安全で津波の被害のおそれのない場所ということで、高いところを目指して避難行動をとられたわけでありまして。ご自身がお住みの場所がどのぐらいの標高にあるかを知っておくということも非常に重要であるというふうに思っています。海拔表示は、現在は国道8号より海側の看板にのみ表示をしていますが、今回作成する看板につきましては、全ての看板に海拔の表示もしていこうということにしております。

②UO!トク!商品券発行事業

発行主体である商工会議所は、県の補助制度を受けて商品券を発行することとなり、発行総数は7500冊を予定しています。実際にご利用いただくのは、11月から1月ということで、要は年末商戦をターゲットにして、そちらの方でご利用いただく形で準備をしていこうというふうに思っております。

③県知事選挙事務費

若者の投票率が低いということが1つ、また主権者教育というふうなことの取組にも寄与していきたいということで、市内の高等学校4校あるわけですけれども、高等学校に臨時の期日前投票所を設置をしていこうという取組であります。ちなみに、県議選で10代の投票率は27.95%、そして今年度の市議会議員選挙の10代の投票率は24.51%ということで、いわば、4人に1人しか投票をしていないということでもありますので、しっかりこういった取組を通じて、若い世代の投票率アップにつなげていければというふうに思っています。

④園芸収益力強化推進事業

これは県の補助事業ですが、魚津市では新川大根が美人大根ということで、特産品がありますが、これを更に特徴をしっかりとPRしてブランディングしていこうということでもあります。産地PRの動画を制作し、ランディングページ（広告や検索結果から訪問者が最初にアクセスするWEBページ）を作っていきます。

2. 令和5年度 決算の状況について

（財政課）

資料の方にあるとおりですが、令和5年度の一般会計の実質収支につきましては、昨年度から2億円減少いたしまして12.1億円となりました。

予算と比べて、実質収支黒字になってるのは何でかというところですが、地方交付税、主に特別交付税が、予算で組んだよりも多く来たということや、特別会計の繰出金などが見込んでたよりも減ったというふうなことが主な要因になります。

12.1億の実質収支ですけれど、まだまだ災害含めて、今年度どんなことがあるのかわかりませんので、そういった今後の財政需要に対応していきますとともに、将来の財政負担を見据えた支援の積み立てなどをしっかりとやっていきたいというふうに思っています。

3. 魚津市総合防災訓練

（総務課）

今回能登半島地震での課題を踏まえた訓練内容を取り組んでいろいろやっていきたいと思っています。今回新たに取り組むものは、実際に歩いて避難をしてみようというふうなことを今回取り入れます。最寄りの避難所への、徒歩による避難訓練、それから安否確認といものをまず組み込みます。

それから福祉避難所の設置訓練、救援物資の輸送訓練ということで、実際の発災時とは、道路環境なり違うことは違いますが、やはりあの時、ものを運ぶのにかなり手間取ったということもありますので、実際に救援物資を輸送する、こういったようなものを組み込みたいと思っています。

更には民間事業者さんにご協力をいただいて、AR、VRの防災体験などを行います。

メイン会場になっています本江地域交流センターでは、リモートロックを（公共施設の開錠システム）市民の皆様に見ていただく予定にもしています。発災時の課題の解決、こういったものにつなげていけるように、訓練をしっかりやってきたいと考えています。

4. 住民票等証明書自動交付機の設置

（市民課）

市役所の1階柱のところに設置をします。マイナンバーカードを使って、住民票などのコンビニ交付サービスが利用できる行政キオスク端末を設置をいたします。

申請書を書いたりする手はありませんし、時間がぐっと短縮されますので、まずはそういうものを体験をしていただきたいと思っています。端末の使い方がわからない方には、職員が操作支援を行って、操作に慣れていただくということを進めていきます。さらに、窓口で手続きをしていただくよりも、100円安い手数料設定にもなっておりますので、ぜひ皆様方に端末を利用いただいて、便利さなり、時間の早さを体感をしていただきたいと思っています。

5. フレイル予防セミナー

（健康センター）

9月に3回各金曜日の午後にフレイル予防セミナーを開催をいたします。対象は65歳以上の市民の方で、昨年からのフレイル予防セミナーを始めています。

昨年と違うのは、昨年は全3回コースということで、3回全部受けてもらうことを想定でやりましたが、今回は、それぞれご参加いただいても大丈夫になりました。

6. 魚津の農林水産業 体験・応援プロジェクト 親子体験会

（農林水産課）

魚津の農林水産業体験応援プロジェクトの9月開催分のご案内です。ワイナリー園と、カナタワイナリーさんを会場に、ワイナリーの収穫体験や、ワイナリーの見学を行っていただくということになっています。

【質疑応答の内容】

○「地域振興職員の時間外勤務手当」について

《記者からの質問》

8月に発表のあった時間外勤務手当の総額はまとまってきているのか。

《回答》（市長）

大体は把握しているが、今回の9月補正には入っていません。詳細は精査中であり、はっきりまとまったところで予算措置し、支給していく予定です。

○「令和5年度決算」について

《記者からの質問》

実質収支12.1億についてはどのように捉えているのか。

《回答》(市長)

表を見ていただくと、令和3年の18億。おそらく魚津市としてはピークだったのではないかとも思いますが、要因としては、1つはコロナの影響です。コロナで、いろいろ予定していた事業や毎年やってるような事業が軒並みストップになりました。そうすると、そういったものの財政支出はなくなるわけで、黒字として出てきます。この一方でふるさと納税が、去年は7億約5000万、その前の年は4億5000万、その前の年は2億4000万ということで、毎年その分が増えていってるんで、ある意味そこは、この実質収支のプラスにする要因として、寄与してる部分があります。構造が少し変わってきている面があり、我々とすれば、その辺のバランスを見ながら、行政ニーズにはしっかりこたえていきながら、赤字にならないような工夫をしていくということに尽きると思います。

○「パラリンピック出場の藤井選手」について

《記者からの質問》

4回目の出場で頑張っておられるが、期待感などについて伺いたい。

《回答》(市長)

初めての個人戦となります。これまで3回は団体戦で出てらっしゃった。初めての实戦なので、これまでとはまたちょっと違うシチュエーションなので、どういうふうな展開になるのかは我々も楽しみでもあるし、期待して応援をしたいというふうに思っています。そうは言いながらも、もう4回目ですので、オリンピックっていう舞台に立つ経験は、十分おありですので、精一杯ご自分の持っておられる力を発揮していただければなと思っています。

○「災害等の広報」について

《記者からの質問》

台風の被害状況について、各担当課に詳細を聞いているが、なるべく窓口を一つにして発信してほしい。一本化について検討を進めていただきたい。

《回答》(市長)

重要なことだと思いますので、念頭に置いて取り組んでいきます。